

復興支援の取り組みに貢献する建築家・デザイナーの活動や建築家としての責任



被災地の復興再生

特集 建築家が挑む！

小泉の人々がコミュニティの継承・持続の手段として高台への集団移転を選んだ。道のりは、決して平坦ではないが、生きる人々が希望と意欲をもって再生を望むのであれば、専門家として全力で支援したい(森傑―北海道大学教授)。避難した住民がフクシマに帰れるという希望を持ち続けられるように、再生可能エネルギーをはじめ、ゴミや家畜フンも資源に利用する持続可能社会を構想しています。(中村勉―建築家・工学院大学教授)。

●森傑 | 住民発案の集団移転実現に向けてコミュニティ・アーキテクトの責務 ●北海道・震災支援けんちく隊の仕事 | 避難から移住へ、住環境を全面サポート ●角館政英 | 沿岸部の街の明かりを手がかりに釜石市全体を復興再生 ●陶器浩一 | 「竹造」仮設で集会所を建設 地域になじむ「掘りどころ」に ●福島県浪江町・川内村・南相馬市首長 | 原発事故は日本全体の問題、協力求む! ●中村勉 | 脱原発・自然エネルギーでフクシマを復興再建

ジャーナルギャラリー



人にも、地球にも
認められる建築を
三分二博志

美しき構造設計の世界 ②③
「神戸ポートタワー」
白髪誠一

東北の建築家からのメッセージⅣ
被災した建築家
だからこそできる
復興への足がかり

東日本大震災―行動する建築家⑤
岩手スギを使った
木造仮設住宅
―藤原昭夫



各地域に拠点を置く設計事務所
の作品集
建築集